

10月7日の教材研究会を受けて

- ・割合が基準量に依存しない活動を前時までに位置付けた。
- ・「分数のひみつを見つけよう」を単元を通したねらいとした。
- ・分数と倍の関係を双方から捉えさせるようにした。



単元計画

時間	指導内容	学習活動
1・2	分数の意味理解① 1/2	<p>分数のひみつを見つけよう！</p> <p>1 「元の大きさ」を意識した分数の表し方・読み方 (1/2)</p> <p>2 「元の大きさ」が異なる1/2の比較</p>
3・4	分数の意味理解② 1/3, 1/4	<p>3 「元の大きさ」を意識した分数の意味の表し方・読み方 (1/3, 1/4)</p> <p>4 「元の大きさ」が異なる1/3, 1/4の比較</p>
5 (本時)	基準となる大きさから、比較する大きさを双方向から捉える。 1/2, 1/3, 1/4	<p>5 基本となる大きさから比較する大きさの関係性</p>

【本時の活動 (5 / 5時)】

- ◆目標 分数と倍との関係性に気付き、2つの数を双方向から捉えることができる。
- ◆本時で働かせ、成長させる数学的な見方・考え方
「元の大きさ」の1/2、1/3、1/4の大きさである「一つ分の大きさ」から「元の大きさ」を見ると、2倍、3倍、4倍の大きさになるという割合の素地となる見方について、具体物や図をもとに考えたり、説明したりすることができるようにさせる。

【研究主任より】

・授業づくり講座を通して全教員で単元計画作成までの流れを共有できたことが一つの成果です。また、系統性を捉えることの大切さやどのような見方・考え方を育てることが必要なのかという、これからの学習指導において大切になる視点についても考えることもできました。研修がよりよいものとなるように校内研修の在り方をブラッシュアップしていきたいです。

【授業者より】

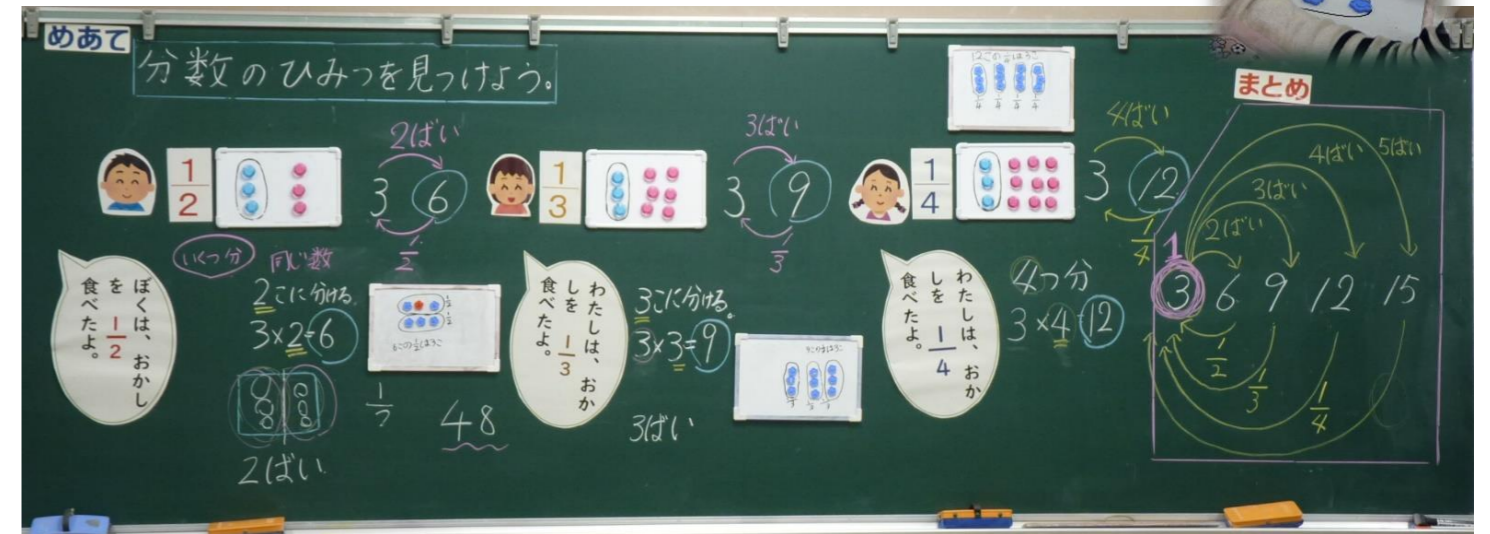
・子供たちにどのような見方・考え方を育てないといけないのかということ意識した授業を行うことにより、子供たちは授業を通して、前時の授業の学びや、他の単元の学習とつなげた発言ができるようになったと思います。今後も、新学習指導要領に書かれた内容をしっかりと読み解き、実際の単元デザインや授業に具体的に落とし込んでいくということを行ってきたいと思います。

【参加者より】

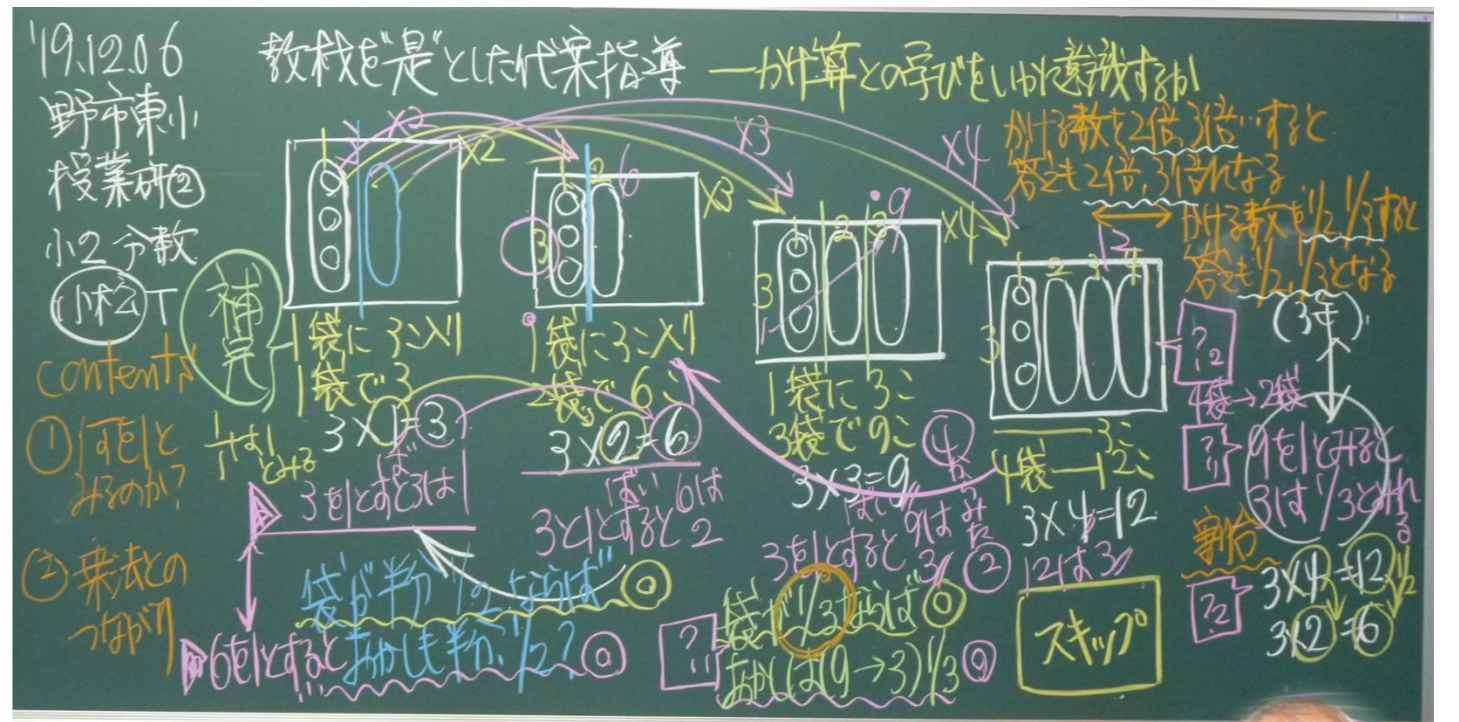
・子供たちの「学びたい!!」という気持ちがたくさん見られました。本時に至るまでの単元構成をしっかりと考えられていた授業でした。今回の学習が、3年生での学習や5年生での学習につながり、深い学びに発展していくのだと分かりました。



最終板書



齊藤先生による最終板書



齊藤先生による指導講話



- ☆「かける数を2倍、3倍...すると、積も2倍、3倍...になる。かける数を1/2、1/3...すると、商も1/2、1/3...になる。」という乗除法の性質を学ぶ。しかし、2年生には難しいので具体的な場面(本時では、袋の数が2倍になると、お菓子の数も2倍になる。)で気付かせていく事が大切である。
- ☆本時は「こういうことを理解させなければならない。」というより、「どういう見方が育つのか」ということを意識して授業を行うことが大切である。
- ☆今までは操作分数(1/2、1/4、1/8)が基本的なコンセプトであったが、今回の改定で「1/3」が新たに入ったのは、操作でできなくても乗除法で考えることができる分数を学習するということである。そういった事を捉え単元をデザインしていくことが大切である。(1/5、1/6、1/7...も入る。)